

院長 石黒英昭

暖かくなり、過ごしやすい季節となりました。
この冬は、家族そしてスタッフ皆がインフルエンザにかかりインフルエンザウイルスの感染力の強さを身もって感じました。

春から夏にかけては、狂犬病注射、フィラリア予防、ノミ、マダニ予防等で病院に来院される患者さんが増えています。外待合もありますので、病院内で待つことを嫌がるワンちゃんはどうぞご利用下さい。検便、爪切りは無料で行っていますので、どんどん申し出て下さい。そして病気のこと、治療のことでも少しだけ分からなことがありますから、お気軽に質問して下さい。

まいちゃん、はっちゃんの



しこけのワンポイント

人間の食べ物を与えないようにしよう！



ワンちゃんがテーブルの横に“オスワリ”をして、じっと見ていたりしたら、ついあけたくなってしまいますよね？

しかし、大切なワンちゃんのために人間の食べ物を与えるのはやめましょう。

ワンちゃんにとって最適な食事はドッグフードの中の総合栄養

食であり、それ以外のものを与えることはバランスを崩すことになります。人間の食べ物を与えて不必要的味を覚えさせることは、ワンちゃんにとって残酷な事だとどうか理解下さい。

また、ワンちゃんの要求通りに食べ物を与えてはいるが、飼い主さんは自分の言いなりに従うと誤解しても仕方がありません。主導権が食事だけでなく他の事にまで及ぶ恐れがあります。

かわいいワンちゃんの健康としつけのため、気をつけましょうね。

フォト ギャラリー



沢辺みことちゃん
Mシコナウザー ♀ 1才

依田イヴちゃん
mix ♀ 6才

依田ハナちゃん
mix ♀ 4才



鳥居れんちゃん
mix ♂ 1才

丸山ナルトちゃん
フェレット ♂ 1才

丸山まりあちゃん
フェレット ♀ 6才

鳥居のんちゃん
mix ♂ 1才

近藤らぶちゃん
シーズー ♀ 1才

丸山桃ちゃん
フェレット ♀ 4才

三浦マーブスちゃん
mix ♀ 9ヶ月

渡辺ブーちゃん
パグ ♂ 5才

渡辺バーチちゃん
シーズー ♂ 9才

春です。 フィラリア・ノミ・マダニ 予防の季節です。

暖かくなるにつれて、蚊も少しずつではありますが出でます。

蚊が吸血活動をはじめるのは、気温が15°C以上となってからです。昨年同様、錠剤タイプのものと、お肉のかたまりのチュアブルタイプのものを用意しています。

フィラリア予防薬は、服用の前に血液検査が必要となります。4月から検査可能ですので、ご来院下さい。

また、ノミ・マダニもワンちゃん、ネコちゃんに寄生してからだと、かゆみの強い皮膚病になります。



ノミの寄生が多い部位

マダニの寄生が多い部位

フィラリア症、ノミ・マダニの寄生は飼い主さんが予防してあげれば防ぐことの可能な病気ですので、予防してあげて下さいね。

What
動物の病気

ワンちゃんに多い病気
ワンちゃん、
急に老け込んでしませんか？

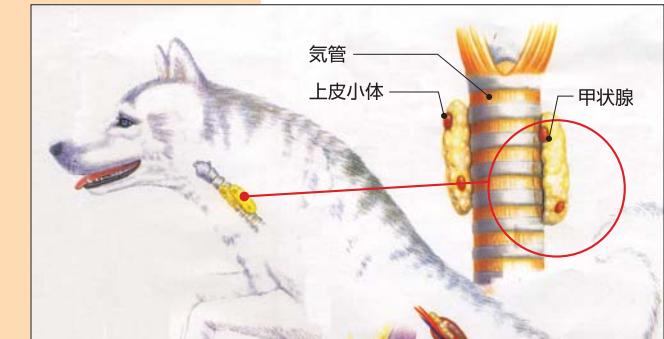


甲状腺機能低下症

「食欲はあるけど、元気がなく毛づやも悪い」といったお話を耳にすることがあります。“年のせい”で老け込むこともあります、病気が潜んでいます。

このような症状で多い病気が「甲状腺機能低下症」です。「甲状腺」とは、のどの下部にあって動物の体を構成する細胞や骨・筋肉・内臓・皮膚などの代謝、働きを促進する「甲状腺ホルモン」を分泌している器官です。

この甲状腺の機能が低下すれば、甲状腺ホルモンの分泌が少くなり、心身の活力が衰え、様々な症状が出てきます。



特徴・症状

- 食欲はあるが、いつも元気がなく、表情がさびしそう。
- 散歩を好まず、疲れやすい。
- 遊びたがらず、呼んでも反応が鈍い。
- しつぽを垂れ、頭を下げた姿勢が多い。
- 歩くとき、足をひきするような歩き方をする。
- 暖かい季節でも寒がる。
- 毛づやが悪く、左右対称のかゆみのない脱毛がある。
- 皮膚が黒ずんだ。

診断

- 採血して、「甲状腺ホルモン」を測定する。
当院では検査できないので、外部の検査センターに検査を依頼。

治療

- この病気の診断がついたら、合成甲状腺ホルモンを服用していく。
服用しながら症状をみていく、薬の量を減らしていく。

この病気は遺伝性と考えられています。年齢も4歳以上に多いとされていますが、実際にはそれ以下の年齢でも発症しています。ワンちゃんに多く、ネコちゃんには少ないと言われています。食欲はあることが多いため、見過ごしてしまうのが現状です。ワンちゃんが何となく元気がなく、活発さに欠けるようならご相談下さいね。